

# 本部だより

●第47号



マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>



携帯サイト

- 発行日: 令和5年2月1日 ●発行人: 高林芳夫
- 本部: 181-0012 東京都三鷹市上連雀8-7-8
- 電話 & FAX: 0422-77-8557 ●編集人: 鈴木千春



マジURO、ローラ地区のラグーン浅瀬に不時着したB24 (写真提供・マジURO在住 成田吉希氏)



新年あけましておめでとうございます。

皆様お健やかに、新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

当会は昭和38年に結成され、今年で60年を迎えます。コロナは未だ収束していませんが、今年は4年ぶりに慰霊祭を行います。

ご家族お揃いでお参り下さるよう、お待ち申し上げます。

ウクライナではロシアによる侵攻が続いており、大勢の市民が犠牲となっています。国防対策をおるそかに、「話し合い」だけで紛争は解決ができない現実を思い知らされました。

我が国を取り巻く隣国は、虎視眈々と侵略の機会を狙っています。

国は、国民の生命と財産を守るため、そして再び戦火とならないために、法の整備や国防対策をしっかり進めてほしいと願っています。

78年前、我が国は戦争で三百万人を超える国民が犠牲となりました。過去の歴史を風化させず、戦火で犠牲となったすべての御霊(みたま)に、安らかな眠りと感謝の誠を捧げましょう。

令和5年度 慰霊祭・総会・直会のご案内

4年振りとなる慰霊祭・総会を開催します。お子様、お孫さんもお誘いのうえご参列下さい。

※遠方の方の交通事情を考慮し、昇殿参拜の時間を12時と設定しました。

■日時 令和5年4月2日(日)

■受付 靖国神社参集殿前

9時30分より受付開始。10時15分までに受付をお済ませください。

■会場 参集殿二階「楠の間」

■総会 10時30分より

- 一 開会の辞
  - 一 あいさつ
  - 一 活動報告
  - 一 会則改訂
  - 一 会計報告
  - 一 会計監査報告
  - 一 今年度行事予定
  - 一 その他
  - 一 閉会の辞
- 織田邦男様 講話 11時より20分間  
各メディアにて、ご活躍中の織田様に

講話をお願いしています。織田様の叔父様が海軍パイロット。昭和18年11月20日、ギルバート諸島上空で散華されました。享年21歳。

■集合写真撮影 11時30分から(同会場)

■昇殿参拜 12時より

■直会(懇親会)

アルカディア市ヶ谷の2階 中国料理「翠」に徒歩移動し、13時頃よりお食事を頂きながら会員相互の親睦を図ります。

会費 お一人様5千円

終了時刻 15時30分頃

皆様のご参加をお待ちしております。織田様もご参加の予定です。

※織田邦男様プロフィール

昭和27年生まれ。防衛大学校卒業後、航空自衛隊入隊、F4戦闘機パイロットなどを経て米国の空軍大学へ留学。第301飛行隊長、米スタンフォード大学客員研究員、第6航空団司令などを経て、2005年空将、2006年航空支援集団司令官(イラク派遣航空部隊指揮官、2009年退官(空将)。現在、麗澤大学特別教授。第38回(2022)正論大賞受賞。

事務局よりお願い

●慰霊祭出欠はがき

同封のはがきに必要事項をご記入のうえ、2月末日までに本部へ届くよう投函下さい。欠席の方も同様に投函下さい。(メアド登録OKの方へは今後、情報などメールでご連絡します)

●会費ほか

同封の振込用紙にて2月末日までにお振込みをお願いします(振込手数料は各自負担でお願いいたします)

・年会費 3千円

・慰霊祭参加者お一人につき(お子様も)玉串料 500円

・直会参加者 5千円

・寄付金 任意ですが、ご協力をお願いします。会員数も減少し、当会は皆様からの会費と、ご寄付で運営しております。何卒ご協力をお願い申し上げます。

未納会費 納入のお願い

11月30日現在(前年度の)会費未納者は、現在15名です。お振込みを忘れていらっしゃる方は、よろしくお願います。

寄付者芳名 (順不同)

(4年8月22日～11月15日迄)

皆様よりご寄付をいただきました。

- 東京都 井上賀彦様 5千円
  - 埼玉県 吉原利美様 2千円
  - 東京都 西田寿子様 7千円
  - 富山県 廣島正光様 2千円
  - 香川県 石川正興様 7千円
  - 埼玉県 植田和明様 5千円
  - 大阪府 山本敏夫様 2千円
  - 千葉県 東 邦義様 1千円
- 合計3万1千円のご寄付を頂きました。  
心より感謝申し上げます。

※46号寄付者欄に記載ミスがありました。

(誤) 高知県 石川正興様

(正) 香川県 石川正興様

お詫びして訂正いたします。

新入会員 (島名 戦没者との続柄)

- 東京都 和田一郎様 (クエゼリン島 甥)
  - 大阪府 山本敏夫様 (ミレー島 大甥)
- ご入会ありがとうございます。

永代神楽祭

鈴木千春

令和4年7月15日、靖國神社にて当会の永代神楽祭(命日祭)を斎行いたしました。

※永代神楽祭とは、仏教でいう永代供養にあたり、遺族会が解散等で消滅しても靖國神社が毎年、本殿にて「みたま」のお名前を奏上し、みたま慰めの神楽舞をお奉げするというものです。



東日本放送 高橋直希さん

今年も、宮城

県仙台市の東日

本放送のデイレ

クター・高橋直

希さんが参加さ

れました(写真)

真)。高橋さん

は、当会役員の

佐藤勉さん(宮

城在住)のドキ

ュメンタリーを

制作され、その

番組はテレビ朝

日にて、昨年の

8月13日に放送



遺族に取材する高橋さん

高橋さんは永代神楽祭の終了後も待合室にて熱心に、遺族の取材をされました。若い方が、戦争に興味

をもち、取材される姿に英霊も喜んでいらつしやうと思われました。

会員の皆様も御祭神のご遺徳を継承するため、子や孫、次世代を担う方を永代神楽にお誘いください。

全国戦没者追悼式

高林芳夫

令和4年8月15日、日本武道館で政府

主催の全国戦没者追悼式が挙行されました。

今年もコロナ禍で規模を縮小しての開催

となり、参加者は600名とのことでした。

・午前十一時五十一分開式

・天皇皇后両陛下がご臨席になる

・国歌演奏

- ・内閣総理大臣の式辞
- ・正午、一同黙とう
- ・天皇陛下のおことは
- ・衆議院議長の追悼の辞
- ・参議院議長の追悼の辞
- ・最高裁判所長官の追悼の辞
- ・天皇皇后両陛下のご退席になる
- ・内閣総理大臣、遺族代表、青少年代表、来賓、地方公共団体代表、厚生労働大臣が献花
- ・閉式

当会への招待は一名でしたので私が代表して戦没者の御霊に感謝の言葉とご冥福をお祈りしてまいりました。



令和4年度東京都戦没者追悼式

鈴木千春

8月15日、

会長代理として、はじめて参列しました。

132名の参加者が、都庁第一本庁舎5階大会議場に集まり、挙行されました。

国歌奏楽、東京都知事の式辞、黙とう、(放送による)天皇陛下のお

ことば、追悼のことば、献花、という流れでした。

全員が着席して見守る中、都議がひとりずつ壇上上がり献花をするのですが、そのとき衝撃だったのは、日本共産党東京都議会議員団幹事長の女性都議が、スマホを片手に持ったまま献花した



ことです。私は一番前の席でしたのでよく見えました。都が主催する戦没者追悼式という公的な場です。スマホはデスクに置いてくるなり、ポケットに入れるなりするべきであり、戦没者を追悼する態度ではないと憤りを感じました。多くの遺族会も見ている中で、このような行いをする良識のない都議がいることが極めて残念です。念のため、共産党以外の都議はキチンとしておりました。

知事の式辞の一部を紹介いたします。

終戦から七十七年が経過し、国民の多くが戦争を経験したことのない世代となっており。しかし、戦陣に散り犠牲となられた多くの方々の御無念と、今なお癒されることのない御遺族の深い悲しみに思いを致しますと、戦争の残酷さ、悲惨さに痛惜の念を禁じえません。

折しも、ロシアのウクライナ侵攻により、国際情勢は激変のさなかにあります。私は、この式典に臨み、戦争の惨禍を二度と繰り返してはならないと、改めて深く心に刻んでおります。

新型コロナウイルスとの闘い、気候危機、エネルギー危機、厳しさを増す国際情勢など、日本は今、戦後最大の試練を

迎えていると言っても過言ではありません。

こうした時だからこそ、私たちは、苦難に満ちた先人たちの歩みを改めて振り返り、平和追求の努力を重ねていかなければなりません。

そして、危機を乗り越え、夢と希望に溢れた平和な世界を、持続可能なものとして、未来の子供たちへと引き継いでいくことを、ここにお誓い申し上げます。

東京都知事 小池百合子

令和4年度千鳥ヶ淵戦没者墓苑

秋季慰霊祭

保延 務

10月18日、会長の代理として参列させていただきました。私は初めての参加でしたが、慰霊祭は昨年と同様、コロナ感染防止のため「規模を縮小して実施」とのことでした。

当日は秋晴れの下、秋篠宮皇嗣殿下及び同妃殿下のご臨席のもと内閣総理大臣以下関係閣僚 国会議員、政府関係者 陸海空自衛隊の各幕僚長 儀仗隊 音楽隊も参加して厳かに行われました。

式典は国歌吹奏の後、天皇 上皇陛下御製奉誦、音羽ゆりかご会童謡奉唱、総

理大臣追悼の辞、皇嗣殿下同妃殿下御拝礼の後、献花とすすみました。

献花は順番に呼名され、マーシャル方面遺族会との呼名に従って私は当会を代表して謹んで献花をさせていただきました。遺族会関係からは、水落敏栄日本遺族会会長をはじめ 関東近県の各県遺族会会長など約30名。マーシャル方面遺族会のような戦地名を冠した個別の遺族会は少なく、本会は遺族会として「貴重な存在」と感じました。

尚、千鳥ヶ淵戦没者墓苑は日本国の国立墓苑です。ご遺骨が日本に帰還を果しても、個人が特定されていないご遺骨を毎年5月に納骨し、六角堂の6つの部屋(6地域)に分けて、金銅製の納骨壺に大切に安置されています。

マーシャル方面を含む中部太平洋では11万9912柱(令和4年現在)が安置されています。(全体では37万269柱)

日本遺族会主催・現地慰霊 中止

令和4年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業のマーシャル・ギルバート諸島

地域の現地慰霊は中止となりました。

世界的な広がりを見せた新型コロナウイルス感染症は、国内においては新たな変異株による感染再拡大の状況にありますが、マーシャル諸島及びキリバス共和国地域への入国は「外務省の渡航勧告は十分注意」に、緩和されました。しかし、未だ一部規制が講じられている現状でもあります。これらを鑑み、協議を行った結果、やむなく中止することと決定致しました。

一般財団法人 日本遺族会

マーシャル方面遺族会主催の現地慰霊について

高林芳夫

当会主催の現地慰霊を計画しておりましたが諸般の理由から今年度は中止と致します。「外務省の渡航勧告は十分注意」となっています。しかし島に入国してからの(私達に限らず)島で感染者が出た場合、すべての人が島から出ることができなくなります。(感染が収まるまで)コロナの状況を見て現地慰霊を実施いたしますので宜しくお願い致します。

DVDの紹介



靖国神社  
占領下の知られざる攻防  
(2010年発売) 58分

NHKスペシャル 戦後60年記念

『靖国神社』

占領下の知られざる攻防

靖国神社はこうして「生き残った」

※発売は2010年ですが、靖国神社の歴史を知るためにもおススメです。中古市場でチェックしてみてください。

【収録内容】

国の命令で戦争に赴き、命を落とした軍人軍属など、約246万人を「神」として祀る靖国神社。終戦直後、靖国神社の存続、廃止をめぐる、日本とアメリカが激しい攻防を繰り返してきました。「靖国神社は軍国的英雄を崇拜し、攻撃的な国家主義精神を育む場である」(アメリカ国務省PWC・戦後計画委員会の

記録文書より)と、GHQが靖国神社の廃止を検討するなか、靖国神社はどのようにして「生き残った」のか。GHQが残した数千点にのぼる資料、当時の靖国神社関係者の証言記録から、占領下の知られざる攻防を明らかにする。(2005年放送)

事務局よりスタッフ募集

●現在、高齢の遺児が中心となって、事務や会報の発送作業などを行っています。東京近郊にお住まいの方で、封入作業や慰霊祭当日のお手伝いを協力していただけの方を募集しています。  
●今後HPも更新していきます。HPや会報で紹介したい情報や、近況などお手紙やメールでお寄せください。

百年前の災害派遣

タイフーンモニユメント・  
聖恩記念碑 鈴木千春

マーシャル諸島、首都マジUROの西部、ローラ地区(8ページ地図)に、「聖恩記念碑」があります。これは約百年前

に台風被害を受けたマジURO住民に対し、大正天皇と日本政府が復興を支援したことを示す石碑です。

島の端から端まで、左右に椰子の木が並ぶ一本道を車で走ると、左側に碑が見えてきます。台座の上に二メートルもの石碑が内海を臨み、堂々と建っています。

聖恩記念碑は、大正八年十一月十四日建立。当時の臨時南洋群島防備隊司令官だった永田泰次郎海軍少将が起案し、帝都賜菊園学会長の藤野静輝(元太政官、詩歌人)が揮毫、石工の森田利助が刻印した、台風被害への見舞金下賜を記したものです。(碑文は8ページ参照)



大正七（一九一八）年十一月八日、マーシャル諸島を襲った大型台風により、マジロ環礁では高波が発生し、民家が崩壊、流出しました。畑、椰子林も壊滅的な打撃を受け、波にさらわれるなど二百名以上の犠牲者ができました。小さな島においては未曾有の大惨事です。

発生報告は、現地司令官から海軍省へ、そして海軍省から宮内省へただちに伝達されました。報告を受けた大正天皇は、復興支援として多額（五千円）の「私的」見舞金を下賜されました。（現在の価値で三百万円超）。加えて海軍関係からも資金が提供され、現地島民への支援を開始。食糧、衣服を配布し、家屋を建設しました。

また海軍は、なぎ倒された椰子を撤去し、島民と共に新しい椰子を植えて規模を拡張しました。それにより後年にコブラ（※椰子の胚乳を乾燥したもの）産業が大いに発達。現在の立派な椰子林は、大正時代の日本の援助に由来しています。

大正天皇からの私的見舞金のご下賜に、当時、島民は感激しました。が、世

交代が進んだ現代のマーシャル人には、（漢字表記なので）碑の意味が伝わっているかわかりません。

とはいえ私は現地を訪れ、この碑により百年前に委任統治領への災害支援が行われていたことを知りました。いち早くかけつけ、島民を救助、支援し、さらにコブラ産業を拡大させ、のちの島民の、豊かな生活基盤への種をまく、という日本の統治方法に感銘を受けました。

聖恩記念碑は、日・マ両国の親善の証し。しかしここを訪れる日本人は少ないようです。

先人が南洋に刻んだ、世界に誇るべき善政の記憶を多くの日本人に知って欲しい。南洋との百年の絆が消えぬよう、風化させてはいけない歴史です。

※雑誌「丸」2019. 10  
月号への寄稿文を要約して記載しました。





一本道の脇に建っている



聖恩記念碑

大正七年十一月八日颯風マーシャル群嶋に襲来しメジロの如きは海嘯之に伴ひ波浪民屋を漂蕩し死傷二百餘 蓋し群嶋未曾有の惨害たり事寂間に達し 為に 宸慮を勞して 内帑を賜ふ時に大正八年一月十四日なり 聖徳廣大一視同仁 恩澤 遠く南洋に及ぶ 孰か感激報效を欲せさらむ 嶋民由来 順良にして 忠孝の道を教ふるに足る 宜く長く 聖恩を感銘せしむべし 因つて地を此に相し文を石に刻し以て後世に傳ふ

大正八年十一月十四日

臨時南洋群嶋防備隊司令官

海軍少将正五位勲二等功三級

永田泰次郎 謹譔

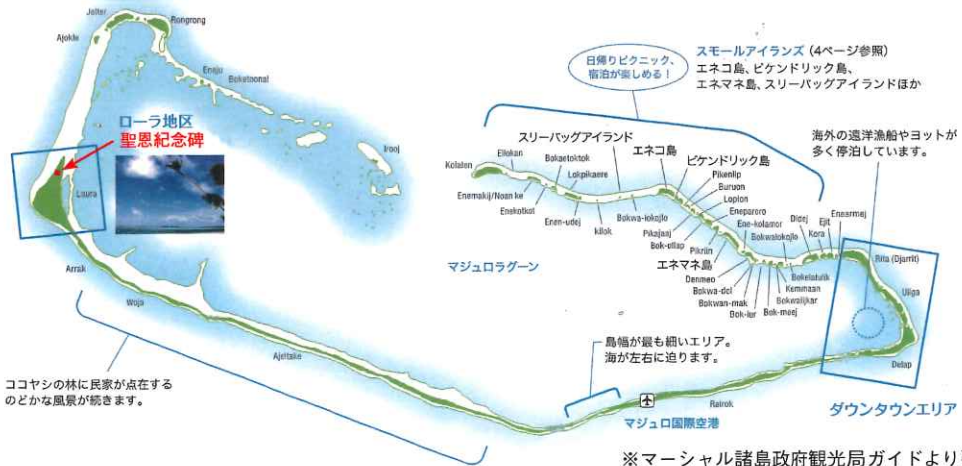
帝都賜菊園學會長藤野靜輝 敬書

東京小石川江戸川丁八

石工 森田利助 刻

マシロ環礁

約50の島々が環状に点在します。元々全部で64の小島でしたが、第2次世界大戦後、米國がマーシャル諸島を統治した際に約10の島々が埋め立てによってつながり、ローラ地区からダウンタウンまで約48キロメートルの大きな1つの島となりました。



※マーシャル諸島政府観光局ガイドより引用

※事務局へのご意見・ご感想、投稿記事、マーシャル関連情報などお寄せください。お問合せ先 事務局・高林 048-223-6110 携帯090-3337-4531 メールアドレス takabayashi.yoshio@khaki.plala.or.jp